

令和 2 年度以降実施の地熱資源開発調査事業について

(1) 系統連系の現状について

- ・ 昨年 1 1 月 2 9 日（金）に開催した「第 2 回ジオ・エネルギー事業検討委員会」において、1 0 月に電源接続案件募集プロセスの開始について公表され、1 月には募集要項が策定・公表されるだろうとの見通しをご説明したが、未だ公表されていない状況となっている。3 月中になるのではないかという話もあるが、確定情報は入ってきていない。
- ・ 上記を踏まえ、速やかに系統を確保できるよう体制は整えておく。また、申請容量については現時点で想定するフラッシュ発電の 5 MW のみではなく、将来的な発電量を見据え、1 0 MW としたい。
- ・ 以上、系統接続への見込みが出てきたことから、調査事業を再開する。

(2) 構造試錐井掘削調査について

- ・ 今年度は秋に環境事前調査として希少植物及び鳥類の調査を実施した。しかし、希少植物については全植種を特定できていないことから、次年度の 7 月頃に再度実施する。また、鳥類調査についても同様に 6 月頃に再度実施する。
- ・ 調査事業に伴い必要となる各許認可に関し、環境省、林野庁及び北海道庁とは協議を開始している。今後、上記調査と並行して随時協議を実施し、順次申請・取得を目指す。
- ・ 環境事前調査と全許認可取得の時期を考慮し、次年度は現地敷地造成及び水井戸掘削のみを行い、坑井掘削調査については令和 3 年度の実施とする。全体スケジュールについては別紙資料 P 6 のとおり。
- ・ 坑井は 2 本掘削する予定。まずは 1, 3 0 0 m 級（別紙資料 P 2 「ターゲット①」）を掘削調査し、調査結果によって 2, 0 0 0 m 級（別紙資料 P 2 「ターゲット①´ 又は②」）の掘削に移行する。詳細については現在検討中。
- ・ 掘削候補地については、平成 3 0 年度に実施予定であった用地から変更はない。
- ・ 以上の計画について、3 月 1 8 日（水）に助成機関である JOGMEC に対する説明を行う予定。
- ・ 次年度第 1 回目となる協議会において具体的な方針の説明を行う予定。